

第20回 珈琲茶会

2019年12月1日(日)

午後1時～書齋カフェにて 会費500円(入館料含む)

初座1時間/後座(懇親会)1時間

■本日の coffee いつもの銘柄

■本日の茶菓子 「知」「情」「意」—美術品の価値と値段—

■茶菓子提供者 服部清人(ぎゃらり壺中天代表、書家)

◆今回の世話人 松永 直幸(鉄道史学会会員)

「茶菓子解説」

近年は現代アートの動向に関心が高まっている。ドキュメンタリー映画『アートのお値段』(2018)、NHKクローズアップ現代+「『うさぎの彫刻』に100億円!?現代アート高騰の舞台裏」、あいちトリエンナーレの一連の騒動など、業界のみならず衆目を集める話題も事欠かない。

しかし、アートの本当の価値は金銭的評価や話題性だけではないはず。いったい価値とは何なのか?そのあたりを近代・現代美術、古美術、茶道、陶芸、書、文学など幅広い人間の表現活動を通して探っていきます。

服部清人 略歴

1958年愛知県生 1981年大東文化大学文学部卒 ギャラリー壺中天代表 書家 ねんげ句会同人、愛知芸術文化協会会員 中部ペンクラブ会員